

## 研修会

※ 研修会の会場は、いずれも 16 号館 6 階 16606 教室 です

研修会A 8月27日(火)9:45~10:45

### 乳幼児期の発達の魅力をとらえた保育・子育て

～子どもたちの「言葉にならない言葉」を受けとめる～

講師:田中 真介(京都大学国際高等教育院)

概要:

国際連合は、21世紀に入った2001年から2010年までを「世界の子どもたちのための平和の文化と非暴力の10年」と提起しました。その後、「すべての人びとによりよい健康と教育を」と各国に呼びかけてきました。

子どもたちの生命・健康・発達を大切にしたい保育実践は、性能のよい一眼レフカメラで鮮明な美しい写真を撮影することにたとえられます。「フィルム」は保育内容、「シャッター」を切るのは保育者。「発達を見る」とは、対象に正確に焦点を合わせる営みといえるでしょう。ファインダー(私の眼)から見える子どもは、私たち次第で変化します。「発達を学ぶ」ことによって、私たちの眼は豊かになり、子どもは新たに発見されます。そして私たちは子どもだったのだから、子どもの発達の理解は、私たち大人自身の未来を新たに発見することにつながるでしょう。過去が新たに発見され、未来が新たに構想されていきます。

本研修では、子どもたちの「自己信頼性」(自分の価値を発見し尊重する力)と「社会性交流性」(自分と世界とのつながりをつくり尊重する力)の育ちが発達をどのように支えているかに焦点をあてます。子どもたちの発達の重要なポイントと、発達を支える保育・子育てのよりよいあり方を学び、子育てに悩むクライアントを励ます新たな観点と具体的な手立てを考えていきましょう。

研修会B 8月28日(水)10:00~11:30

### AI技術と心理学による融合:心理学の社会実装を目指して

講師:紺野 剛史(富士通株式会社コンバージングテクノロジー研究所 プロジェクトディレクター)

概要:

複雑化する社会課題に対し、AI技術や心理学などの単一分野の知見だけで解決することは困難となっている。例えば、特殊詐欺は、巧妙かつ新たな手口が次々に導入されるため、AI技術や心理学などの単一技術だけでは解決することは困難です。特殊詐欺の解決において、AI技術と心理学の知見を相互に取り入れた融合技術(コンバージングテクノロジー)の開発が求められます。

特殊詐欺防止において、従来手法は、加害者側(詐欺師)の音声キーワード解析することで詐欺検知を行っていた。しかし、新たな手口が次々に変化する毎にキーワードを更新することは運用側の負担が大きく現実的ではない。そこで、本提案では手口が変化しても被害者(高齢者)の「騙される」という心理状態は共通と仮定し、我々は高齢者のバイタル情報から不安な感情を推定することで、「騙される」という心理状態を判定する特殊詐欺検知AIの開発を目指している。

本研修では、2022年に開始した尼崎市実証で現在進行中のコンバージングテクノロジーの研究を紹介しながら、心理学研究の可能性を検討してみたい。